若松新聞

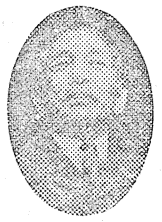
発行所
福岡県若松市小石町
若松高等学校
新聞部
正昌　守
八人　尾沢
第一編集　西大
西日本新聞社

メガネの豊福

若松市本町四丁目光彩街
電話一三二四番

技術者若松病院眼科御指定

私の経営方針
和を以て貴しとなす
校長　森本鉄之助



若松高校発足後わずか一ケ年にして初代の井ノ口校長を西福岡高校にお送りし、新らたに筑紫高校から森本鉄之助校長をお迎えした若松高校長は就任に当つて本紙に一文を寄せられた。（写真は森本鉄之助新校長）

森本校長略歴・鞍津中学卒業後鹿島高師を経て広島文理大学教育学科卒業、広島高師教授となり、西福岡高校長、筑紫中央高校長を経て後、若松高校長として現在に至る

若松高校長として着任の挨拶に代えて私の学校経営方針の一端を述べてみたい。

第一に親和一体の家族的団体の学校を作ること「和を以て貴しとなす」聖徳太子の御訓訓はそのまま教育における学校経営の重要な方針でなければならない。殊に男女共学を課程の結合して昨年生れたばかりの本校においては校内の融和一致は固より同窓会、父母教師会、保護者、市民との連繋協力がなければ充分なる効果を挙げ得ない。

第二に適当な教育的環境を作ること、人間は環境の子である、教育は環境を調整する仕事である。幸にも本校は自然的環境には恵まれているので更に職員生徒の工夫と勤労によつて学校を整美化して尊厳にして優美なる雰囲の陶冶をすると共に実を質にして強らつつある校風を樹立して素晴らしい人格性の涵養に努めたいと思う。

第三に学力の充実と体位の向上を図る、実力をつけて健康にして真に役に立つ人間を養成することである。即ち個性に即し要求に應じ将来の進路を考慮した教育を施す一方体育運動を奨励して強健なる心身を練成して國家社会の有為なる形成者を作り上げねばならない。これが成否は教師の実力とその指導に俟つが根本は生徒の自発的な学習意欲と真摯探究の熱意と不断の努力如何にかかると思う。

更に また家庭の教育に対する理解と協賛の程度が大いに関係するものである。

第四に学校の民主化に努める。職員側の運営の機構と方法は漸次民主化の線に向つて進んでいるが生徒側の生徒会、ホーム・ルーム、クラブ活動等には未だ改善振興の余地がある。もち論行き過ぎた民主主義誤れる自由主義は学園から絶対に排除せねばならないが要は各自が民主主義の真の意義を把握しその根本精神に徹して責任を重んじ自治自律尚び個人の人格を尊重し協同と奉仕の精神をもつて行動せねばならない。自分の学校、私の会であるという自覚の上にたつて活動することがのぞましい。

最後に勤労青年の教育を重視してその成績をあげたい。新制度によつて勤労青年の教育に機会を均等に與えられたことは最も喜ばしいことであるがこれが経営に当つては相当困難のあることを覚悟せねばならない。不撓不屈これ五年間における対日講和をめぐる各國の動きはいつてみればこのような具合であつた。そしてこの人口問題について國内ではやれ全面講和だ、單独でもまた良いが、人口問題とあつてはもう一歩まきりわしくなる——過ぎた歴史はいつまでも繰り返すことはできない。だからすべて運営國の意見如何によつて決定されるとあるが、これを以て貴しとなすの精神を以て進むならば必ずや明るい光明を見出すことができると信ずる。

特別後援会
長に藤井氏に決る
会員…多数の女子卒業生

待望の本校野球部後援会は去る三月二十六日若高において発会され会長に旭日座映画館々主の藤井寛一郎氏副会長に若松クラブの船主黒岩正男氏と市内二映画館主が就任し、新鷹会には石田正謙氏、部長は本校教諭の原田敏武氏が決定、今後野球部の発展をめざして第一歩を踏出した。

現在の本会の会員二百三十名で在学生の父兄が大部分、その他に卒業生が入会し中でも女学生の卒業生が多数あるのが注目すべきでこれに反し旧中学校の卒業生が少ないのは遺憾である。

本会の出発によつて野球部としても経済的に豊富になつたが、発会当時は一人あて会費を少なく会員を多数募集することが目的であつたが現在では結果が予想外反対であり、予定金年間九十万円に対して約四十万円前後で満足とはいえない有様である。しかし本後援会は会員自ら理解があつて会員諸君も協力してくれ内外面は他校に比較して真実されているといつても過言はない。なお年一回総会を開き後援会と会員との懇談が行われまた後援会の発足にともない後援は主将は今後の抱負を次の様に語つた

今年度の当部の成績はあまりよくなかつたが、これは選手全体が試合なれずビシテヤーの阿部もカーブが定まらずバツテングも本格的ではないので満足とはいえないがこの際特に後援会が発足してわれわれ選手も心機一転して活躍しようと思つている。目的は夏の大会にあるので頑張りたい。

論説
新制高校の在り方

日本における民主々義革命は学制を根本的に変革した。こうして六三三制の新学制は新らしい希望と大きな抱負を持つて発足したのであつた。この事実はなにものがあるものであろうか。左翼に中学校が高等学校に着板の塗り変えをした程度のことであろうか。高校生活を送るわれわれとしてこの変革の意義を深く認識し新制高校の真の在り方について論じ実践しなければならない責務があると思う。

過去の日本において一高を筆頭に幾多の高等学校が存在した。その幣衣破帽の高校生になることは全中学生の憧れの的であつた。この高等学校に着板の塗り変えをした程度のことであろうか。高校生活を送るわれわれとしてこの変革の意義を深く認識し新制高校の真の在り方について論じ実践しなければならない責務があると思う。

過去の日本において一高を筆頭に幾多の高等学校が存在した。その幣衣破帽の高校生になることは全中学生の憧れの的であつた。この事実はなにものがあるものであろうか。

相撲

若潟相撲部員の待ちに待った日本大相撲羽黒山、照國一行百五十名は四月二日午後四時四十八分若松駅着の列車で來若した、われわれ相撲部員は一行を出迎えた後かど屋旅館に、現在は引退され若嶺を勤めている國の花関を訪問した、若嶺は心好くわれわれ部員を、えびす祭りで賑っている町の芸子が眺められる二階の一室に招いて下さった、相撲生活三十余年の肥大な体をどっしりとすえてわれわれの質問に喜んで答えられた、以下はその大要である

小田　最初に専門力士の稽古について……

若嶺　稽古は午前中ですき腹の時にします、朝早くから晩まで烈しい真剣な稽古をします、ですから専門力士は昼と晩の二食しか食事は摂りません

コーチA　部員は腹がすいたら練習をおこたるのですが……

若嶺　それは大間違いです、相撲はすき腹の時でなければ練習は出來ない、すき腹の時が相撲の練習に最も適しているのです、大学の相撲部員などは昼食抜きで稽古しています

押しが相撲の秘訣だ

壽命縮める不摂生

相撲部員国の花関と語る

出席者（敬称略）
若嶺　國の花関
相撲部コーチ　和田、峰松
相撲部員　三年　古長、上野、田中
二年　松浦、秋元、高橋、大山、吉岡
先輩　小田

小田　専門力士の稽古は何番位とりますか……

若嶺　そうですね、一人につき三十番から五十番位まではやります、また先輩の胸をかしてもらって押しの練習もします

高校相撲の練習法

松浦　高校相撲部員の練習について……

若嶺　あなたたちは何時間位練習しますか……

古長　普通放課後二時間半くらいです。

小田　専門力士の稽古は何番位とりますか……

若嶺　そうですね、一人につき三十番から五十番位まではやります、また先輩の胸をかしてもらって押しの練習もします

高校相撲の練習法

松浦　高校相撲部員の練習について……

若嶺　あなたたちは何時間位練習しますか……

古長　普通放課後二時間半くらいです。

若嶺　なんといっても毎日かかさず練習することが大切です。

秋元　練習の仕方は……

コーチB　相撲体操もやらせているのですが……

若嶺　それは結構ですね。私達の時代は相撲体操などなかった三番勝負や勝ち抜きは効果がありますよ。なんといっても押しの練習が一番重要です、相手を土俵から突きだすような気迫があってほしい。いはゆる鉄砲突きですねこれも四股だけで廻内まで上った人がいます。練習中は腰を降ろしてはいけません。仕切の姿勢とか四股を踏んだりせず腰を強くするようつとめるべきです。

得手の乱用は損

小田　高校の相撲選手にはそれぞれ得手の押しで、投げを得手とするものは四つに組んで投げ勝っているのですがそれについて意見を……

コーチA　小田君は押しばかり教えしがって困るのですよ押しはあまり使わない

若嶺　もちろん得意を伸すことも必要だし、その得手ばかりの押しと突きが一番大切です、投げを得手とする人が投げばかり練習するよりも突きと押しを共に練習したらその人はずっと伸びるでしょう、四つ相撲は倍の力がいるのです、大変苦労して勝たなければなりません、時間も長くかかるし損ですよ、相撲の古豪にもあるように「押さば押せ、引かば押せ、押して勝つのが相撲の極意なり」ですよ

若嶺　なんといっても毎日かかさず練習することが大切です。

秋元　練習の仕方は……

コーチB　相撲体操もやらせているのですが……

若嶺　それは結構ですね。私達の時代は相撲体操などなかった三番勝負や勝ち抜きは効果がありますよ。なんといっても押しの練習が一番重要です、相手を土俵から突きだすような気迫があってほしい。いはゆる鉄砲突きですねこれも四股だけで廻内まで上った人がいます。練習中は腰を降ろしてはいけません。仕切の姿勢とか四股を踏んだりせず腰を強くするようつとめるべきです。

得手の乱用は損

小田　高校の相撲選手にはそれぞれ得手の押しで、投げを得手とするものは四つに組んで投げ勝っているのですがそれについて意見を……

コーチA　小田君は押しばかり教えしがって困るのですよ押しはあまり使わない

猛練習で肥える身体

高橋　（若嶺の肥大な体を見ながら）身体が肥えるのはなぜですか……

若嶺　体質により、吉長君のような人がもっと肥えるでしょう、私など現役中烈しい稽古をしているうちにいつの間にかこんなに肥えたのです、土俵上に投げられたりしているうちに肥えたのでしょう

相手が身体が大きい場合四つ相撲は不利ですから突きで行っていました、烈しい稽古のあとの食事だから何を食ってもうまく身体も丈夫になります、それからいい忘れていましたが練習中には水は口の中をうがいする程度で飲まないことです、飲んでいますとだんだん心臓が弱くなります

吉岡　体重はどれ位が適当ですか……

若嶺　どんなに肥えていても相撲はとれます。

吉岡　身体が肥大していたら不自由ではないですか。

若嶺　私など肥えていますが不自由ではありません。苦にもなりません、自然に肥えていったのですから

小田　力士の経済状態はどうですか……

若嶺　親方に食はしてもらっています。力士は金銭には淡白です。金のことなど感心になくても練習に一生懸命です。

コーチA　部員は時々試験だとか勉強が忙がしいといって練習をしないんですよ。

若嶺　あなた達にまだ高校生だから試験中は練習を休んで勉強するのが当然ですが、他は練習後家に帰っても勉強はできます。勉強と相撲は両立しますよ。

疲れがなおらず勉強ができないというのは練習の仕方が悪いからです。相撲の稽古は烈しいため大へん疲れますが長い時間やらなくても短時間中に真剣に身も心も締めてやれば効果が上ります。

皆さんは笠置山をしっているでしょうが笠置山は早大在学中は試験中でも道場にきて毎日かならず真剣な稽古をしていました。百井山もそうです。

コーチA　その話は度々部員に話しきかせています。

若嶺　笠置山は早大時代から専門力士になるといっていましたそれだけ稽古も一生懸命でしたがとう〳〵関脇まで進みました。

小田　幕内の組織運営の傾向がありますが。

若嶺　確かにその傾向はあります、しかし協会に大関二人所属しそれも横綱に推薦される規定がありますので致し方ありません幕内の格下げ問題も討議されていますが本決りにはなっていないようです。

田甲　昔の幕内と現在の幕内との実力はどうですか。

若嶺　時と場所によって断りかねます。しかし現在の方が技が進歩しているから強いでしょう。

小田　柔道する人がよく肋膜にかかるのですが、特に在学中柔道部にいた人が卒業後病します。

若嶺　それは在学中の烈しい練習を急に止めたりするからではないのですか、不規則な生活をするからと思います。急に止めることは身体に悪い。除々にやめるようにしなければいけません。

コーチA　その反面自宅は押し（突き）相撲です

若嶺　前にもいったのですが朝方に踏み出す気迫が必要です、千代の山関は大へん突き（押し）を得意としていますが四つ相撲も研究していますので強くなるでしょう

大山　突き相撲の場合は手の長い方が有利でしょうか…（優柔）

若嶺　そんなことはありませんよ

田甲　技の進歩は昔に較べてどうですか……

若嶺　相当進歩しています、押しの練習がそうです

上野　相撲の練習の後の疲れはどうしますか……

若嶺　風呂が一番よいでしょうね、風呂に入ると疲れが一ぺんになおりますよ

高橋　（若嶺の肥大な体を見ながら）身体が肥えるのはなぜですか……

若嶺　体質により、吉長君のような人がもっと肥えるでしょう、私など現役中烈しい稽古をしているうちにいつの間にかこんなに肥えたのです、土俵上に投げられたりしているうちに肥えたのでしょう

相手が身体が大きい場合四つ相撲は不利ですから突きで行っていました、烈しい稽古のあとの食事だから何を食ってもうまく身体も丈夫になります、それからいい忘れていましたが練習中には水は口の中をうがいする程度で飲まないことです、飲んでいますとだんだん心臓が弱くなります

吉岡　体重はどれ位が適当ですか……

若嶺　どんなに肥えていても相撲はとれます。

吉岡　身体が肥大していたら不自由ではないですか。

若嶺　私など肥えていますが不自由ではありません。苦にもなりません、自然に肥えていったのですから

小田　力士の経済状態はどうですか……

若嶺　親方に食はしてもらっています。力士は金銭には淡白です。金のことなど感心になくても練習に一生懸命です。

コーチA　部員は時々試験だとか勉強が忙がしいといって練習をしないんですよ。

若嶺　あなた達にまだ高校生だから試験中は練習を休んで勉強するのが当然ですが、他は練習後家に帰っても勉強はできます。勉強と相撲は両立しますよ。

疲れがなおらず勉強ができないというのは練習の仕方が悪いからです。相撲の稽古は烈しいため大へん疲れますが長い時間やらなくても短時間中に真剣に身も心も締めてやれば効果が上ります。

皆さんは笠置山をしっているでしょうが笠置山は早大在学中は試験中でも道場にきて毎日かならず真剣な稽古をしていました。百井山もそうです。

コーチA　その話は度々部員に話しきかせています。

若嶺　笠置山は早大時代から専門力士になるといっていましたそれだけ稽古も一生懸命でしたがとう〳〵関脇まで進みました。

小田　幕内の組織運営の傾向がありますが。

若嶺　確かにその傾向はあります、しかし協会に大関二人所属しそれも横綱に推薦される規定がありますので致し方ありません幕内の格下げ問題も討議されていますが本決りにはなっていないようです。

田甲　昔の幕内と現在の幕内との実力はどうですか。

若嶺　時と場所によって断りかねます。しかし現在の方が技が進歩しているから強いでしょう。

小田　柔道する人がよく肋膜にかかるのですが、特に在学中柔道部にいた人が卒業後病します。

若嶺　それは在学中の烈しい練習を急に止めたりするからではないのですか、不規則な生活をするからと思います。急に止めることは身体に悪い。除々にやめるようにしなければいけません。仕切の姿勢とか四股を踏んだりせず腰を強くするようつとめるべきです。

得手の乱用は損

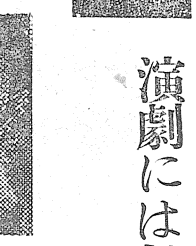
小田　高校の相撲選手にはそれぞれ得手の押しで、投げを得手とするものは四つに組んで投げ勝っているのですがそれについて意見を……

コーチA　小田君は押しばかり教えしがって困るのですよ押しはあまり使わない

若嶺　もちろん得意を伸すことも必要だし、その得手ばかりの押しと突きが一番大切です、投げを得手とする人が投げばかり練習するよりも突きと押しを共に練習したらその人はずっと伸びるでしょう、四つ相撲は倍の力がいるのです、大変苦労して勝たなければなりません、時間も長くかかるし損ですよ、相撲の古豪にもあるように「押さば押せ、引かば押せ、押して勝つのが相撲の極意なり」ですよ

猛練習で肥える身体

演劇には戯曲・文學も必要
今後は新劇が主動力に
新劇の杉村春子と語る



四月某日、友人を送る途中偶然に門司駅で文学座の杉村春子さんに御会い出來、あわただしい改札前の数分に刺して二問一答を試みた（写真は杉村春子さんとそのサイン）質問者は小森記者

問　今度はどこの方で演じられたのですか。

答　八幡日鉄の従業員の慰安会で親和会館に行きました。

問　九州の文化程度というようなことについて。

答　三回目ですが、今度は慰安会だったし、九州全体の文化程度ということは分らないのですが、そうように文化意識があるように思はれます。熊本がその点一番よいと思います、あそこにはやはり古い九州の文化地であった点からかもしれんですね。

問　学生演劇について……

答　学生演劇は私あんまりみていないのですが……若松はどうですか。

若高生　低調です。ここには種々の経済的根拠とが、環境的理由もあるのですがやはり学生間の文化的意識が低いように思われますんですね、私の考えではソ上演するばかりでなく戯曲、文学の根本を勉強しないと本当の演劇は理解できないと思うのです。だから戯曲の研究も一生懸命にやってほしいし、一般演劇とは違うという点をはっきり認識してほしいです。

問　一般演劇との相違ですか。

答　そうです、たとえば学生としての個性を伸張すべき演劇であってもらいたいですね。

問　では最後に今後の抱負の様なものについて……

答　あくまでも新劇が主動力となりたいわね、そのためには一生懸命努力もします。また今がその千ヤンスだと思います。しかしそれには力がないのです、この不足の力をもりあげていきたい、演劇界の主動力を占いものにかはつてハアクしていきたい。そのためには一生懸命に勉強をしたいと思つております。

問　前進座の入営問題について

答　演劇人の自由でしょう。あのことがどうひびくかという考えそれは前進座によって決まる問題だし、あの方達はあの方達の信念があるのだから立場は自由だと思います。

問　映画に出演されているようですが

答　俳優は両方ともやる方が良いのではないかしら。演劇と映画とのテクニックの合流、共に演ずる方が技術も向上していくのではないでしょうか。

今年になつて三本撮りました。『またある日まで』『女の四季』『不良少女』私は両方とものしくまた両方演ることがとても勉強になると思います。

若高生　旅行の忙がしいところへインタビューにきませんでした。偶然にお会い出來、お話をうかがうことができたことをうれしく思っています。では新聞ができたら早速送りますから……

〃一番の難関は数字〃
東大の牙城未だ揺がず
入学考査に見る……

今回新聞部編集室で本年度上級学校入学志願者の合格率を調査した。調査の対照としたものは昨年度本校男女卒業生百九〇名で、その内上級学校受験者は九十七名、栄冠をかち得たものは八十五名で全体として九十パーセント前後の好成績をおさめている。

官立大学への進学率は比較的不良で、特に埼玉大学、東京教育大学、東京外國語大学は合計六名の受験者があったがいずれもだめなし、また京都大学には西村君が難関を突破して見事に入学した。

さすがに地元の九州大学、九州工業大学、福岡学藝大学、山口大学等は受験者が殺到し、競争率三ないし四倍といったはげしいせり合いを見せたが特に九州大学では受験者数四十八、うち合格者十四名で進学率は二十九パーセント前後という低調さである。これに対して学藝大は五名で五名入学率百パーセントの好成績をおさめ、九大とコントラストをなしている。

全般的に私立大学は良好で、ほとんど全員満願校中のいずれかに入学し、完全に落ちたものはわずか十名内外である。

裏口入学はいぜんとして跡絶で今度も最後までみなかったがこれは卒業生の主力が学費および生活費の軽減の意味から多く九州、山口の大学を選んだことにもよるが何としても勉強の不足、特に女科志願者の数学軽視が主なる原因をなしている。受験人員の少なかった女子は全員合格している。

職員間の話ではまあまあといったところらしいが特に各学科の関係生二、三に本年の成績なり明年の対策をたずねてみた。

【國語科A先生談】近ごろは機械的な暗記よりも文章の理解能力を主眼とする問題がふえてきたので正確な知識、確信のもてる知識をしっかり頭の中に入れることが必要になってくる。おおよそこんなことだろうくらいにぼんやりとおぼえていたのでは今年のように似たような答えから一つを選ぶ問題に測驗した場合に必ず失敗する。

【英語科S先生談】英語は單なる英文和訳より英語による内容の理解が大切で日ごろから文の大意を把握する練習をしておかないと今年の様な問題には太刀打ちできない。

【數学科O先生談】問題は一應やさしく高校の程度を越すほどのものは少なかつたがそれでも前年度に比べて味のある問題が增加しているので解析一、解析二、幾何と分化孤立の学習に陥いることなく廣い視野にわたつて廣いベースで裏附しながら勉強することが特に必要だと思う。理科では數学四科のうち二、三科にまたがる問題が少なくないので各科とも本均した実力をやしなうことが大切だ、本校受験生中で失敗したもののほとんどが理数科が原因になっているのだから、よほど愼重に万全を期してもらいたい

その他某先輩は数学科には例へ的確な答えが出なくても推理の筋道が正しい時にはその実力をある程度みとめる学校もあるから最後まで投げずに頑張るようにということを附言しておく。

横綱と稽古相撲
本校相撲部活躍

角力ファン待望の照國・羽黒山一場所盛大な披露相撲を行つた、当日は去る四月三日、市役所前の廣場で行はれ大入たちはぼくらをアプレゲールと呼ぶ。この言葉にこめられ一切は、まさにぼくら二十代にふさわしい。疑いもなくぼくらは戰後派である。目かくしをとつて真理をながめることのできを最初の世代である。

アプレ・ゲールという言葉は、第一次大戰後の混沌期におけるフランスの文学に名づけられた呼称だそうである。この國の物好きな批評家が、戰後の若い作家の一群を、アプレ・ゲールと名すけてから、この言葉はジャーナリズムの異常な傳播力に乗つて、たちまちの中に流行語となつてしまつた。そしてこの言葉の内容も、文学用語としての限界をうち破つて、戰後二般の風俗を概括的に表現する呼称に変化してしまつた。

ところで、厚い幕暗でのアプレ・ゲールという言葉の内包する概念は如何なるものであろうかそれは、われわれ自身の心象風景に外ならない。即ち古い因習や、権威に対する反逆と解體、新しい統一を創案する分裂と錯乱などであり、その構造破機の中に常に激しい否定的精神を含んでいる。形の崩れた、混沌としたカオスの狀態、秩序に対して頭から反發する精神、これこそアプレ・ゲールの本質である。

ぼくらは一切の戰争責任を持たないにかかわらず、物質的精神的の最大の負債を背負わねばならぬ君らの中にはない。ぼくらの世代は廃墟の瞬間である。新しい歴史は君らから始まらねばならない。

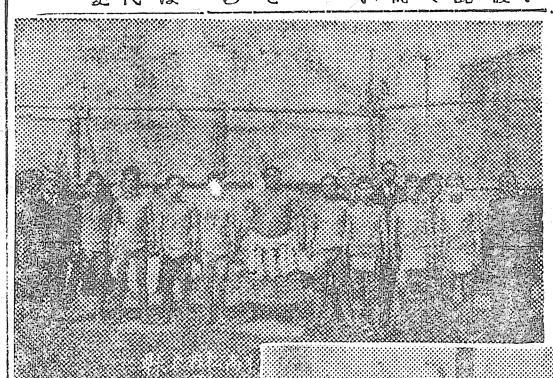
（詳報は本紙数面）

不幸の中から芽ばえてくる。

『きけわだつみのこえ』は、ぼくらの世代がこの世に残した悲痛な記録である。訴えはかなしく苦い響きに満ちて行つた時代にも、彼等は默々と書いている。それは混沌を貫く激烈な流れである。ぼくらは過渡的な混沌を克服すべき時に來ている。新しい價値と新しい價値と新しい歴史は君らから始まらねばならない。

先輩諸君、君らの世代は再び、『きけわだつみのこえ』を書いてはいけない。ぼくらはすでに君らの中に新しい人間の型を認める。ぼくらの中にみられる戰争の影は君らの中にはない。ぼくらの世代は廃墟の瞬間である。新しい歴史は君らから始まらねばならない。

（詳報は本紙数面）



文化
アプレ・ゲールの克服
山田輝彦

ぼくらの青春は血と硝煙にまみれていた。世界の真理が日本の真理なのではない。日本の真理こそ世界の真理だという空しい符号と叫喚の中で、ぼくらは本氣にそれを信じ、いのちをかけて統一に戰つた。日々の日記は即ちわれわれの遺書であつた。生きることが問題なのではなく、死することが唯一つの問題であつた。櫻の花をかざして沖縄へ飛んだ友らの悲劇的な面影をぼくらは今も忘れることができない。そして彼等は死にぼくらは殘つた。ぼくらは信ずべき対象の一切を一挙にして失つてしまつた。既存の一切のものに対して、ぼくらの世代が激しい反逆の精神を燃やすのは当然である。

園学
年頃ともなれば

今まで休み時間は餓鬼大将だが、授業の中は書写機的存在だつた三年W君、女生徒と肩を組んで授業をうけ出したとたんに授業中の態度はがらりと変り、良く調べて來て発表したした。

過去を知る他の男生徒諸君曰く『おいおい君、今日は珍らしく早く來たな』A君答えて曰く『うん何日も朝掃除をサボルのはイヤだからな』傍合からC君曰く『おやおや雨が降られば良いがなあ』さて帰りがけになるとほんとうに雨が降り出した。B君曰く『おいA君明日からはあまり早く來ないでくれよ、たのむぜ』『僕は雨がきらいだからな』それを聞いたA君『ジメタソ』（八戒）

こりやシメタッ

ある朝掃除の時間、珍らしくも早く來て掃除をしていたA君にB君曰く『おいおい君、今日は珍らしく早く來たな』A君答えて曰く『うん何日も朝掃除をサボルのはイヤだからな』傍合からC君曰く『おやおや雨が降られば良いがなあ』さて帰りがけになるとほんとうに雨が降り出した。B君曰く『おいA君明日からはあまり早く來ないでくれよ、たのむぜ』『僕は雨がきらいだからな』それを聞いたA君『ジメタソ』（八戒）

彼の昼食は？

ある日の昼休み、四、五人連れで數学室の前を通つた三年生の某君『いい匂いだなあ』『數学室の前に來ると數學的呼吸するねえ』等々、それをきいた某女生徒『まあ、今昼食が終つたばかりじゃないの』さきにあらず彼等の昼食は二時間目の休み時間なのだ（八戒）

魅力あるユニフォーム

ある日、二年の某女、本校野球部の猛練習を見ながら『やっぱり野球のユニフォームはステキね、一度でいいからスマートに着てみたいわ』それをそばで聞いていた勇生徒、ニヤリと笑つて『背方が着をるとユニフォームがやぶけるから遠慮してくれよ、頼むから、もう野球部にはユニフォームはないよ』この勇生徒、自分のスタイルに自信があるらしいが実物はハテいかに。（山田生）

カボチヤ男

ある日、リユーとした洋服を新調して意氣揚々として登校した某君に対して意味ありげな顔をするがイカンながら淋びるのはいずれも頑烈な批評ばかり、曰く『ダモイそつくりだ』曰く『首から上が汚なすぎる』『約合がとれんから、かえって男前が落ちた』等々、これはさすがの某君もダメソ（○・X）

尻の威力

某先生の講義中、眠氣をもようしく新入生の某君あたりをジロジロ見まわしていたが、ふと隣の椅に目をつけて曰く『南校舎の椅子は北校舎のより大きいなあ』とたんに隣にいた某君『そりやあそうさ昔は女学生が坐つてたんだもの』

（生意氣なる新入生）

羽黒山と稽古相撲

を見せ場内はようやくクライマックスに還する、中入後いよいよ呼物の幕内相撲が始まり力士の一挙一動にも熱心なファンの目は土俵に集中される、土俵は期待に違わず終始息つまる熱戰となり吉葉山―滑水川、三根山―若瀬川、想知山―高津山等幾多の好取組を経ていよいよ待ちに待つた一番羽黒山―照國の一戰が行われるに及んで場内のふん囲気はクライマックスに達し両横綱が東西の花道に現れると轟々たる声援が耳を聾するばかり、観衆息をのんで見守るうちに気合もろとも照國がつきかけ羽黒もガツキと受けて土俵中央に一呼吸、大相撲になるかと思われたが照の前褌を充分に引いた羽黒が一気四土俵によりすみ西土俵の一角によりきってアツ気なく羽黒山の勝となつたかくして大相撲の幕開に万余の大観衆を魅了しつくして十時間に及ぶ大熱戰の幕を閉じたなお当日中入後の勝負は次の通り

前頭　輝昇（上手投）照里
山口（上手投）櫻國
大岩山（吊出し）若瀬川
麗瀬川（寄切り）綠國
清黒波（寄切り）二瀬山
琴錦（上手出し投）幡州山
島津山（押し出し）想知山
滑水川（寄切り）吉葉山
三根山（上手投）若瀬川
羽黒山（寄切り）照國
打出し四時三十分（大沢記）

写真説明　上図は羽黒山をはさんでの相撲部記念碑、下図は部員松員君と羽黒山の稽古相撲

薬の御相談はぜひ
藥局 是松薬局へ
本町六丁目

定検省部語レ英文
キング一輯
金豐堂
本町六丁目
TEL二三九〇
コロムビア二輯

絶讃博す優良書籍
教科書の御用
各種図書類は
西海堂書店
木町四丁目

丸柏前に移轉しましたからどうぞよろしく
文ちゃん書店
中川通三丁目
丸柏前

愛顧用参考書
只今充実しています
ぜひ一度おたちより下さい
田坂書店
本町五丁目

〝真のラガー〟は紳士だ

ラグビー部……永松コーチ

ラグビースピリツトはラガーそのものであつて、またラグビーそれ自体が各自のフエアプレイを極度に要求しているのである。仮りにスポーツマンスピリツトに欠けたものが一人でもいる時は競技は不可能である。あらゆるスポーツの中でフエアプレイの精神を必要としないのはないが、ラグビー程それを必要とするものはない。唯一人のレフリー（審判）が三十人の行動を知ることはできず、彼の視界は僅かに球を中心とした附近に過ぎない。従つてレフリーの視界外、あるいはその際のプレイヤーの行動は規則を破つてもレフリーに知れずに終ることができる。すなわちルールを破り得ることが容易である。しかしそれをも敢らずレフリーを安心して球に注意力を集中せしめる迄にラグビーが自然に紳士的要素を発揮し、ラグビーがゼントルマンのスポーツであるといわれるゆえんである。

ある有名なラガーが『私がラグビーに夢中になるようになつたのはある先輩にラグビーはひとに見えないところでも規則を犯さないように心掛けねばならないというこの言葉が私をラグビーに引付けたのだ』といつている。人の眼の届くところでフエアプレーをするのは容易で、たれでも為し得るが、ラグビーは人の見ていないところでのフエアプレイを要求しているのである。故に真のラグビーをプレイするものは紳士である。

昨年行われたラグビーのクラスマツチの如きは、組体ラグビーとはいえない。異なる球の奪い合いに過ぎない。あのような試合が行われている限り若者のラグビー部の発展向上は望まれない。

またラガーの最も特徴とする点は自己犠牲の精神である。勝利は決して一人では得られない。十五人の協力一体に球を生かすために、あらゆる犠牲と努力が必要である。自己の功名心を放却してチームの大義のために働く精神は、多人数のラグビーほど強く要われるものはない。この精神が如何なる社会にあつても人間が共同生活を営む以上最も必要とするものだが、現在青年に最も欠乏しているものではないだろうか。以上が大体ラグビースピリツトの最も特徴とするところである。

最近よく『ラグビーは恐ろしい荒い』という声を聞くが、中学を卒業して七年間ラグビーをしてきたわたしでさえルールなしに球の奪い合いをするのは恐ろしいと思うがラグビーの試合に際して危険だとか恐ろしいと思つたことは全然なく、かえつてゴールに向つて経過の如く突入するときは、ラグビーしたものでなくては得られない爽快さを覚ゆるものである。

現在のラグビー部員は三年生并保里の両者を始めとして二十数名毎日猛練習をかさね、来るシーズンに備えて、私も現在の部員には多大の期待をかけている。しかし何といつても部員の数が少く、幼稚な人材を得ながら、それを伸ばしてやることができず残念に思つている。ラグビーは決して危険の球技ではなく、普通の健康と勇敢さを有するなら誰にでもできるスポーツである。またそれ位の勇気は男として持つていて欲しいものである。若松のラグビー部の発展は、一に諸兄のラグビーに対する真の理解と関心にかかつている。

（写真は永松コーチ）

日本の原動力若松

山本哲盟

わたしは筆を一本、闘志を命せられる浮世稼業のためあの街に一年、この街に二年と腰分轉々としたが、都市にはそれぞれ独得の性格があるので新聞記者として新任地へ赴く場合まず何はおいてもその都市の性格をつかむため勉めり問うのである。市役所では市勢調査であらつた沿革、人口、戸数、面積、産業といつた市勢の概要を大急ぎで頭にたたき込み、市街地図にとりつこで四囲の交通網を調べたり、商工会議所では、大会社、工業の所在を聞いて、商工業の内容を詳細に調査し、有力者に面会してその都市が集して何の事業で成りたち、何によつてあるいは何人によつて動かされているかを知るのである。若松はいうまでもなく、筑豊炭の積出港としてできた、今後も恐らく石炭と切離して若松の存在は考えられない。即ち若松は石炭荷役の街であり石炭仲仕によつて動いている街なのだ。そこから若松という都市の独得な性格が生れるのである。若松は文化的のない街だといわれる。実のところわたくしも若松上陸第一歩で着これた街に眺めて少タウンザリした、ワインヤツが一日で真黒になるのに閉口した。商人の勉強の足らず物質は高いしわれわれ手、理、化学、生物、書氣（無線）の各研究報告を綜合して大きな科学部誌を作りたいと念願している

化学部

できるだけ早く器具の整備を完了し、夏までに若松市内の地下水検査を行い、当市の地質および土壌に関することから研究し、また夏休みを利用して油田、ガラス、セメントなどの各工場見学、できれば炭坑などの社会見学も予定している。さらに予算の確定次第望遠鏡具としてガス分析の装置を購入することおよび部に水平儀を設けることも予定している（久村部長）

生物部

今年度の計画として、まず高一回採集会を福智山で また郷土の動植物研究とともに海淡水産のプランクトン研究、夏休みには珍山の採集旅行、玄海の島々の動植物研究、九月には夏休み研究の発表会および研究品の展示会、十月には菊の研究会などを予定している。（久村部長）

陸上競技部

新学期とともに新入十数名を加え練習を続けている。甲斐（職）のメンバーは師岡、柏原、生野（農）などの選り出しだが依然有望、吉竹、田畑、伊藤などが待機し、それに加えて各中学からたしだ数名が〃今年こそは調をたらん〃と張切つている陸部には、いささか刀抜けの感があるが幸い久、山田両君の活躍と新人の今後の活躍が期待される。女子の部員わずか二名は淋しい。今後競技部の発展のため『われこそは』と思う方は入部していただきたい』というのが部員からの切望である

籠球部

新春を迎えてより先輩諸氏の帰郷によつて逸優技術並に新技術を体得し益々そのチーム力を増強した籠球部は、新学期に入り選手の相つぐ入隊の為最もよりチームの結束力を失つたがそれも回復し益々好調の波にのつている、選手が全部二年生のためグームには慣れているが、体力技術の点において未だ充分とはいえない点が数分かある。最大の難所はチーム内の心の結合調和が薄いことである

メンバーは次の通り
RF 吉田（5）RG 中戸（6）
LF 横尾（18）花田（17）
C 井上（13）檜原（14）
G 小柳（7）

女子チームの現在の状況は練習場が一つしかなく体力も男子に及ばず十分練習出来ないメンバーは
平田、山住、中島、石崎、森永、吉田、吉田、原（職）新入生も十名ばかりいる

ラグビー部

当部は貧しい環境の中からようやく立ち上り永松先輩をはじめ部員二十余名が練習と学校当局の理解によりようやく北九州に名を謳うようになつた、三月二十七日より古月国合宿訓練会行い、がつちりしたチームワークを築つた、FWは三年大石のもと、BKは副将保里を中心として団結しているがFWにいま一つの体力を必要とする

野球部

今年第一の欠点であつた内野陣もようやく安定し打撃も一段とこからの打ち出せるようになつた。以下広告コーチ談である

このたび野球規約ができたことは選手たちに氣の開決のあたえた。今まで試合数が少く、試合になれずそのかけ引きにおいては他校に比し劣つていたので、練習試合を多くやり、また各校共通の弱点のある所の〃カーブを打つこと〃を主として練習をおい、目標は八幡、小倉北両校においている。

ベストメンバー左の通り
二遊三中左右 一投捕
菅、島原本上、山崎川部米
中松尾石石米谷阿沢
1 2 3 4 5 6 7 8 9

新入生としては吉田、本戸、河村、隈谷らが有望視されている。

水泳部

今年度は昨年同様上の成績を収めることは必要である。

主将 岡江重之
マネジヤー 管野信也

△フリー
百米 上野満大郎 1分10秒0
四百米 後藤勝明 6分16秒8
八百米 江口洋 13分11秒0

△クレスト
百米 平安寿久次 1分26秒3
二百米 平安寿久次 3分8秒3

△バターフライ
百米 太田嘉綱 1分25秒0

△バツク
五十米 中村助 33秒0
百米 前谷和長 1分25秒8

校友会活動

▽……科学部……△

物理班

余り活用されかつた所のバインチの反射望遠鏡を大いに活用して太陽観測の効果を上げ、十五計画として郷土の気象観測統計を行うことを計画している。また部員各自が研究題目を設けて吉田貴氏などの研究を参考にして研究を行い、年度に欠くからざる器具および諸道具は予算の不足額を極力節約するよう努力し、他に物理、化学、生物、書氣（無線）の各研究報告を綜合して大きな科学部誌を作りたいと念願している

▽……運動部……△

陸上競技部

新学期とともに新入十数名を加え練習を続けている。甲斐（職）のメンバーは師岡、柏原、生野（農）などの選り出しだが依然有望、吉竹、田畑、伊藤などが待機し、それに加えて各中学からたしだ数名が〃今年こそは調をたらん〃と張切つている陸部には、いささか刀抜けの感があるが幸い久、山田両君の活躍と新人の今後の活躍が期待される。女子の部員わずか二名は淋しい。今後競技部の発展のため『われこそは』と思う方は入部していただきたい』というのが部員からの切望である

籠球部

新春を迎えてより先輩諸氏の帰郷によつて逸優技術並に新技術を体得し益々そのチーム力を増強した籠球部は、新学期に入り選手の相つぐ入隊の為最もよりチームの結束力を失つたがそれも回復し益々好調の波にのつている、選手が全部二年生のためグームには慣れているが、体力技術の点において未だ充分とはいえない点が数分かある。最大の難所はチーム内の心の結合調和が薄いことである

メンバーは次の通り
RF 吉田（5）RG 中戸（6）
LF 横尾（18）花田（17）
C 井上（13）檜原（14）
G 小柳（7）

女子チームの現在の状況は練習場が一つしかなく体力も男子に及ばず十分練習出来ないメンバーは
平田、山住、中島、石崎、森永、吉田、吉田、原（職）新入生も十名ばかりいる

ラグビー部

当部は貧しい環境の中からようやく立ち上り永松先輩をはじめ部員二十余名が練習と学校当局の理解によりようやく北九州に名を謳うようになつた、三月二十七日より古月国合宿訓練会行い、がつちりしたチームワークを築つた、FWは三年大石のもと、BKは副将保里を中心として団結しているがFWにいま一つの体力を必要とする

野球部

今年第一の欠点であつた内野陣もようやく安定し打撃も一段とこからの打ち出せるようになつた。以下広告コーチ談である

このたび野球規約ができたことは選手たちに氣の開決のあたえた。今まで試合数が少く、試合になれずそのかけ引きにおいては他校に比し劣つていたので、練習試合を多くやり、また各校共通の弱点のある所の〃カーブを打つこと〃を主として練習をおい、目標は八幡、小倉北両校においている。

ベストメンバー左の通り
二遊三中左右 一投捕
菅、島原本上、山崎川部米
中松尾石石米谷阿沢
1 2 3 4 5 6 7 8 9

新入生としては吉田、本戸、河村、隈谷らが有望視されている。

水泳部

今年度は昨年同様上の成績を収めることは必要である。

主将 岡江重之
マネジヤー 管野信也

△フリー
百米 上野満大郎 1分10秒0
四百米 後藤勝明 6分16秒8
八百米 江口洋 13分11秒0

△クレスト
百米 平安寿久次 1分26秒3
二百米 平安寿久次 3分8秒3

△バターフライ
百米 太田嘉綱 1分25秒0

△バツク
五十米 中村助 33秒0
百米 前谷和長 1分25秒8

本物ベンドの洋混などを主とし金沙約十二行の幹攻である

【小佐々君談】全く思いがけなかつた。夢のようでただうれしくてたまらない。アメリカの職能人気質には敬服する。僕は以前からクロスビーの大のファンだつたが立派な写真まで送つていただいたし、一層のファンになつた。

ビーからつきのようなうれしい知らせがきた。同はクロスビー撮影映画の紹介シナリオの出版を定ハリウツ

映画批評

若草物語

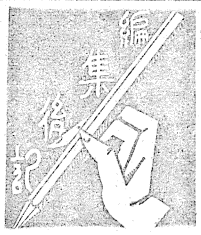
ルイザ・メイ・オルコツト女史の小説映画化はわれわれのよく知るところであるが、以前、RKO社でキヤサリン・ヘツプバン主演で映画化され日本にも輸入されて評判を博かけた、今度はMGMの手でテクニカラーとしてわれわれの前に現われたわけでこの作品について一口にいえば、さらにあるメロドラマの一種である、あまりにもストリーに追われすぎて内容の深さを感じさせられる、それに色彩も美しいといえ美しいけれども、以前に『シベリヤ特急』『シベリヤ物語』等の大自然の新鮮な美しさを知つているわれわれの目からみればトリックが目について仕方が無かつた、俳優で目立つたのはジユーン・アリスンとマーガレット・オブライエンだけに祖母のピーター・ローフオードやロツサノ・ブラツツイ等は立消えの形であつた、この作品にあと一段の深さがあると『ママの思い出』をしのぐ傑作となつたであろうがM・G・Mのドル箱マービング・ルロイの作品としてはテンポも適当なかけ足でそつのない良作ともいえよう、結局この映画はしかめつつらをして、とやかく申したてる映画ではなく気軽るに消化すれば充分であろう（K・I記）

写真説明 ㊧ジユーン・アリスン、㊨マーガレット・オブライエン

夕暮近くまで猛練習

昭和二十四年設置以来建設の発展とともに図業科は珠算、簿業実務金融、タイプ、法規などで簿記を除いてはすべて商業専門の技術的なものばかりを学び、珠算は見取算上、暗算など競技会を前にして連日夕暮近くまで猛練習している現在三級のものが四、五名いるがその他のものでも大いに技量が伸びてほとんど三級におとらぬ実力を有しているものが相当数にのぼつている。

――――――



冒頭かおるの候になりわが編集部も今年の初の刊行を見るに至りました。新聞部も有力な新入生を加えて元氣旺盛、益々内容の充実に力を注いでいます。今号は予算の不足等種々の支障のため多少縮刊がおくれました。この点よろしく御了承願います。

△　△

本紙三面の杉村春子女史との会見記は全く突然で先生の御都合もうかがわず何の紹介もなしに行つたものですが先生はこの無礼な申込みに快く応じて下さいました。先輩の段はこの欄をかりて深くおわび致します。

△　△

第九号は六月下旬ごろ発刊の予定でスポーツシーズンを反映して特集も計画していますから御期待下さい。（T・P）

（写真は西日本新聞社若松支局長）

校友会活動

▽……科学部……△

物理班

余り活用されかつた所のバインチの反射望遠鏡を大いに活用して太陽観測の効果を上げ、十五計画として郷土の気象観測統計を行うことを計画している。また部員各自が研究題目を設けて吉田貴氏などの研究を参考にして研究を行い、年度に欠くからざる器具および諸道具は予算の不足額を極力節約するよう努力し、他に物理、化学、生物、書氣（無線）の各研究報告を綜合して大きな科学部誌を作りたいと念願している

化学部

できるだけ早く器具の整備を完了し、夏までに若松市内の地下水検査を行い、当市の地質および土壌に関することから研究し、また夏休みを利用して油田、ガラス、セメントなどの各工場見学、できれば炭坑などの社会見学も予定している。さらに予算の確定次第望遠鏡具としてガス分析の装置を購入することおよび部に水平儀を設けることも予定している（久村部長）

生物部

今年度の計画として、まず高一回採集会を福智山で また郷土の動植物研究とともに海淡水産のプランクトン研究、夏休みには珍山の採集旅行、玄海の島々の動植物研究、九月には夏休み研究の発表会および研究品の展示会、十月には菊の研究会などを予定している（久村部長）

籠球部

新春を迎えてより先輩諸氏の帰郷によつて逸優技術並に新技術を体得し益々そのチーム力を増強した籠球部は、新学期に入り選手の相つぐ入隊の為最もよりチームの結束力を失つたがそれも回復し益々好調の波にのつている、選手が全部二年生のためグームには慣れているが、体力技術の点において未だ充分とはいえない点が数分かある。最大の難所はチーム内の心の結合調和が薄いことである

メンバーは次の通り
RF 吉田（5）RG 中戸（6）
LF 横尾（18）花田（17）
C 井上（13）檜原（14）
G 小柳（7）

女子チームの現在の状況は練習場が一つしかなく体力も男子に及ばず十分練習出来ないメンバーは
平田、山住、中島、石崎、森永、吉田、吉田、原（職）新入生も十名ばかりいる

ラグビー部

当部は貧しい環境の中からようやく立ち上り永松先輩をはじめ部員二十余名が練習と学校当局の理解によりようやく北九州に名を謳うようになつた、三月二十七日より古月国合宿訓練会行い、がつちりしたチームワークを築つた、FWは三年大石のもと、BKは副将保里を中心として団結しているがFWにいま一つの体力を必要とする

野球部

今年第一の欠点であつた内野陣もようやく安定し打撃も一段とこからの打ち出せるようになつた。以下広告コーチ談である

このたび野球規約ができたことは選手たちに氣の開決のあたえた。今まで試合数が少く、試合になれずそのかけ引きにおいては他校に比し劣つていたので、練習試合を多くやり、また各校共通の弱点のある所の〃カーブを打つこと〃を主として練習をおい、目標は八幡、小倉北両校においている。

ベストメンバー左の通り
二遊三中左右 一投捕
菅、島原本上、山崎川部米
中松尾石石米谷阿沢
1 2 3 4 5 6 7 8 9

新入生としては吉田、本戸、河村、隈谷らが有望視されている。

水泳部

今年度は昨年同様上の成績を収めることは必要である。

主将 岡江重之
マネジヤー 管野信也

△フリー
百米 上野満大郎 1分10秒0
四百米 後藤勝明 6分16秒8
八百米 江口洋 13分11秒0

△クレスト
百米 平安寿久次 1分26秒3
二百米 平安寿久次 3分8秒3

△バターフライ
百米 太田嘉綱 1分25秒0

△バツク
五十米 中村助 33秒0
百米 前谷和長 1分25秒8

大映
映画史上に不朽の燦光を放つ！
〃〃〃〃〃〃われ幻の魚を見たり
原作・脚本・監督 伊藤大輔
〃〃〃〃〃〃東京ローズ
原作 中野実
旭座

豪華番組
21―26 細雪 玄海灘の狼
27
28―1、2 向ふ三軒両隣り 素晴らしき求婚
3― 青春デカメロン 光の町
若松倶楽部

ラジオ部分品は何でも安く揃う店
本町 カワノデンキ
電話四一八番

スポーツ用品は＝旭座街のニューアポロえ

模型飛行機大会＝昼楽園 奮って御参加下さい
シマヅ模型店 本町三丁目

浪人クラブ結成！
若松卒業生にして現在上級学校に籍を置かない者で向学の志を持つ者はすべて入会の資格がある
クラブの目的は向学心と学問に対する情熱を強固にし、社会の誘惑に反発し正しき社会人としての節操を保つことにある
浪人クラブ主幹
五月二十八日